

(公財)長野県長寿社会開発センター伊那支部事業上伊那賛助会との共催

「コロナ時代のわたしたち・・・これからの仲間づくりを考える～」

～ 諏訪中央病院 副院長 高木 宏明 先生 講演会～

1 開催日時・会場

令和3年10月6日(水) 13:30～15:30

長野県伊那文化会館 小ホール

2 講師

諏訪中央病院 副院長

高木 宏明 先生

3 参加人員

シニア大在学生・卒業生・賛助会員他

4 講演内容

(1) 人類と感染症 人類を悩ませてきた感染症

(2) 新型コロナウイルスのお話

飛沫感染予防4項目 ・じかん ・かんき ・ますく ・きより +手指消毒

合言葉「てでじかまき」

(3) コロナへの不安・偏見

「コロナが怖い」「自分がコロナにかかったら秘密にしたい」小学生の6割が感じている。

「子どもも学校のコロナ対策に参加したい。決められたことしかしないのはおかしい」(中2)

「大人だけでいろいろ議論しないで、子どもの気持ちも聞いてください」(小5)

(4) コロナ時代の人々のつながり

ゼロリスクはない。リスク軽減を考える。軽減を考えることはできる方法を考えるということ。仲間を増やしみんなで考える。専門家を賢く巻き込んでいくこと。



5 参加者の振り返り

- ・コロナの時代を生き抜く力をもらいました。動き出すことが大切と感じました。
- ・今の時期に聞けてすごくよかったですと思います。基本さえ押さえればストレスを感じるほど恐さや制限を感じることはない和前向きになれました。ゼロリスクを考えながらも活動開始したい。
- ・マスクの事とか人数の事とかの理解を間違っていたことがあって、もう少し人とうまく(対策したりすれば)会えることが分かったのでグットタイミング。対策を取りリスクを下げることで「できる方法」を考える。前からの活動をなんとか継続。新しいやり方で創造する。何となく怖くなくなった。
- ・大変わかりやすく、ユーモアも交え楽しく時間の経つのも忘れ学ばせていただきました。感染予防についてはなんとなく知っていたことでも改めてなぜどうしてという理由をはっきり説明して頂き、自分の中できちんと理論づけることができました。
- ・高木先生からエールを頂き、明るい未来が見えてくるようです。

